

チギリタイムズ

3月号

The Chigiri Times

『祝十年』

調理員 中村 美和

千両荘で働き始めてまもなく十年を迎えます。やっとないうりよりまだまだという感じです。『新聞』の表紙を書くのは今回で二回目。以前(二〇二二年七月号だったと思います。)書いた文章を一度読み返してみました。……非常に固い。反省文みたいな文章でした。固くて気持ちが暗くなってしまう。そうなので今回はテイストを変えて書いてみます。

この以前『新聞の表紙の文章』を書いた時、私は『広報委員会(千両荘の新聞を作る仕事)』の一人でした。「次回の表紙は『厨房』でお願いしたい。」と委員会が話が出たので、思い切って自分で書いてみました。というのが先の『非常に固い文章』です。もし保管されている方がおられましたら(そんな前の捨てた。と聞かえてきそうですが)何かのついでに見てやって下さい(わざわざ探さなくてもいいですよ。言うまでもなく…。ちなみにホームページからは見られません。古すぎて)。

この数年で『新聞』も様変わりしました。まずタイトルも『ちぎりそう』から『チギリタイムズ』となかなか斬新な名称に変わりました。内容も一新されました。『ちぎりそう』の頃も写真満載の渾身の力作を毎号編集してくれていました。私は『厨房だより』という小さいコーナーを三年程地味に作っていました。今思うと無くて良かったような気もしないではないですが、寛大且つ心優しい相談員さんに特にダメ出しをされることも無かったので地味に当たり障りの無い文を書いていたような気がしています。

当時は千両荘の近況を伝える手段は『紙の新聞』だけでしたが今では『ホームページ』からの『新聞』の閲覧、『スタッフブログ』『フェイスブック』など情報を得るのが便利になりました。今、紙の『チギリタイムズ』をご覧の皆さん、『ホームページ』も、ぽちつとアクセスしてみても下さい(私は全くもって広報には携わってはおりませんが、勝手な使命感で宣伝をしてみました)。とここまで書いてみて『表紙』を振り返ると…内容が合っていないですね。よってここから話をつくつきます。

十年の節目でチギリタイムズの表紙を書く。たまにの偶然ではありますが、何かの縁でもあります。この調子だと直に三回目を書く時が来そうな気がしないうでもないですがその時は取り敢えず「またですかあ」と軽くぼやいてみたいと思います。こんな締めでごめんなさい。以上です。



※本当はピースをしている写真を使ったのですがバックが暗くつかえませんでした…

カヨ子の部屋

第5弾♪

初めて出会った日の事はとてもよく覚えています。ショートステイを利用され車椅子に、ちょこんと座り膝には茶色で水玉のひざ掛け。髪の毛は白髪天然パーマ。メガネをかけ手には白い手袋をはめておられました。私の第一印象は『かわいいー』でした。お互いに自己紹介をすると『カヨちゃん』と呼んでねと言われました。会社では利用者様、入所者様の「ちゃん」付けは禁止です。

何故か、その日からとても仲良しになりました。

カヨちゃんは、私の事を介護士さんから、お姉さん、お姉さんから名前にちゃんを付けて呼んでくださるようになりました。

出勤してロッカールームに行く途中の居室になった事もあり、私は毎日顔を出しました。そして出勤時間を15分早くしたのです。

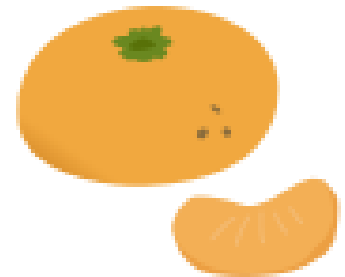
朝声を掛けると「早番だね、ご苦労さん」、夕方顔を出すと「今日は夜勤だね」、明日は休みだと伝えると「じゃー、2つ寝ると会えるね」と言ってくれました。体調があまり良くないと看護師さんから聞き、居室に行きました。何も言わずに顔を見ていると「まだ死にゃーせんで大・丈・夫」と言われました。仕事が終わって疲れた顔で行くと「頑張らにゃーいかんよ、早く帰って寝りん」とも言ってくれました。いつしかカヨちゃんの顔を見る事が私の「癒し」となっていた。

1月30日夜勤。いつも通り顔を出しました。声を掛けたのですが返事がありません。スヤスヤ休まれているかと思いました。私は何度も何度も「カヨちゃん」「カヨちゃん」と・・・体はとても温かくとても穏やかな顔をされていました。

私は勤務時間を15分戻しました。一緒に撮ったお気に入りの写真を介護士室に画びょうで止めました。しばらくすると写真が写真立てに入っていました。次の日にはその横にミカンがありました。仲間の優しさがとても嬉しかったです。

棺の中のカヨちゃんは「カヨちゃん」と呼んでは失礼なほど美人でした。「かわいいー」と思った事を恥じました。会社で「ちゃん」付け禁止の意味を理解しました。

今日は1月30日そう、1年前のあの日です。
たくさんの思い出をくれたカヨちゃんに感謝の気持ちで書きました。
カヨちゃん、ありがとう、本当にありがとう。



PS,落ち込んでいた私に「カヨ子の部屋」を一緒にやろうと言ってくれた、ちぎりんさんと編集長1年間ありがとうございました。

P・Nおかよ

ペッパー君がデイ
に遊びに来たよ！



ペッパーです。
皆さんよろしく



菜の花の苗を皆
さんで植えまし
た。花が咲くの
が楽しみです
ね。

ちぎりそろう
デイサービスセンター
ゆうゆう



お誕生日おめでとう
ございます。



1月からご利用になりま
した西川さんです宜しく
お願いします。



- 1月 荒川登志子様
向坂 志げ様
- 2月 村松ともゑ様
伊藤一二子様
乙部利恵子様



～ひな祭り～



千両荘に、お内裏
様と三人官女がお見
えになりました。お
化粧をしてとても綺
麗でした。

皆さん笑顔が輝い
ていましたよ(^_^)



こんにちは

今月号でミンホのお話は最終回です。

ナースのおはなし

今まで私の大好きなミンホのお話を読んでいただきありがとうございました。今年中にミンホは兵役に行くので芸能活動もお休みになる予定です。10年前に大事故にあって大腿の骨が折れ足首の骨は砕け膝の軟骨も……と

大きな怪我をし、ボルトが埋め込まれているそうです。ドラマを見ているとミンホの歩き方があまり良くなかったのは、そのせいでした。ミンホごめんなさい。

そのため社会服務要員として役所または公共団体などで徴兵期間と同じだけ働くことになるそうです。入所は未定ですが、2年は会えないので頑張ってください。それではミンホのお話はここまでにして……

千両荘に入所されていた利用者様のお話をしたいと思います。その利用者様は、食事をとれなくなった時期があり子供さんが交代で食事介助にいらして下さいました。そのおかげで食事が食べられるようになりました。それは、ご家族の愛情が利用者様に伝わっているものだと感じました。しかし、どれくらいしてからか体調を崩され、食事が徐々にとれなくなってしまいました。ご家族は、自然な形で苦しまないで最後を迎えてほしいと延命治療を望んでいませんでした。2週間くらいは全く食事も水も口にせず、静かに最期を迎えられました。利用者様のお顔はとても綺麗で安らかで、幸せそうでした。

私も利用者様のように、家族に愛され延命治療をせず静かに最期を迎えたい、としみじみ感じる瞬間でした。

私の記事を2年間読んで頂きましてありがとうございました。

鳥軟骨入りつくね



～材料～

鳥挽き肉、鳥軟骨、白はんぺん、ねぎ、しょうが、酒、塩、こしょう
A(醤油、砂糖、みりん)

白はんぺんを入れる事で、つなぎにもなり食感がよくて、さらに軟骨が入っているのでフワフワ♪

～作り方～

- ①. 全ての材料を混ぜる。
- ②. 混ぜた具材を成形する。
- ③. 両面に焦げ目がつくまで焼く。
- ④. Aの調味料を入れ味を整える。
- ⑤. 味が整ったら片栗粉でとじる。

ちぎいさん家のお料理便り

[編集後記] 一年間、千ギリタイムズを編集してきました。色々な方に支えられ無事に最後の発行になりました。広報委員になって二年間、最初は編集に何時間かかった事か…来年度は誰が編集するのでしょうか？委員のメンバーの皆さん、「カヨ子の部屋」のおかよさん、いつも楽しい文章をありがとうございました。編集してて楽しかったです！読んでくれた方ありがとうございました！

P・N 小餃子